医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	緑内障及び網膜疾患の診断アルゴリズムの健診データによる構築
研究責任者	聖隷浜松病院　眼科　朝岡亮
研究実施体制	聖隷浜松病院眼科　　医師・朝岡亮 虎の門病院眼科　　医師・村田博史 北里大学医学部眼科学講座　　視能訓練士・平澤一法 島根大学医学部眼科学講座　　医師・谷戸正樹 浜松ビジョンテクノロジー株式会社　代表取締役　朝岡亮 東京大学医科学研究 TR・治験センター／先端医療開発推進分野　准教授・野島正寛
研究期間	臨床研究審査委員会承認日　～　2042 年　3 月　31 日
対象者	2010 年 4 月 1 日以降に聖隷浜松病院の眼科を受診された方
研究の意義・目的	眼科健診時や受診時に得られた眼底写真や光干渉断層計写真を利用して、緑内障や糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症、中心性漿液性網脈絡膜症、黄斑変性、黄斑円孔、黄斑前膜、網膜剥離、網膜色素変性症などをはじめとするなどの眼疾患の診断を予測するためのアルゴリズムを構築することです。さらに、眼底検診を受けることによる失明予防効果を通じた社会経済学的な検討します。
研究の方法	受診時に診療目的で得られた眼底写真や光干渉断層計写真を含む、臨床データ（年齢、性別、眼圧、視力、屈折など）を本研究のために二次利用する。それらデータを用いて、既存の記述的な統計での解析を行うと共に、ベイズ法、クラスタリングモデル、深層学習法などの機械学習手法および数理統計的手法などを利用することにより、緑内障や糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症、中心性漿液性網脈絡膜症、黄斑変性、黄斑円孔、黄斑前膜、網膜剥離、網膜色素変性症などをはじめとするなどの眼疾患の診断を予測するためのアルゴリズムを構築します。また、眼底検診を受けることによる失明予防効果を通じた社会経済学的な検討を行います。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院　眼科　（氏名） 朝岡亮 TEL:053-474-2222（代表） 眼科外来　9:00～17:00　平日

聖隷浜松病院/臨床研究審査委員会

（研究承認番号：　5070　）　2026 年　11 月　18 日承認

聖隷浜松病院/臨床研究審査委員会
（研究承認番号：　5070　　）　　2026 年　11 月　18 日承認